



# きよせ市議会だより

## 平成22年度一般会計予算 賛成多数で可決

平成22年  
第1回定例会

平成22年第1回定例会は、3月2日(火)から24日(水)までの23日間の会期で開きました。

今定例会では、平成22年度清瀬市一般会計予算及び国民健康保険事業、老人保健医療、下水道事業、駐車場事業、介護保険、後期高齢者医療、の各特別会計予算等の市長提出議案33件、議員提出議案(意見書等)13件、報告1件、市民の皆様から提出された請願1件、陳情5件を審議しました。

なお、平成22年度清瀬市一般会計予算については、予算特別委員会を設置し、3月10日(水)・3月11日(木)・3月12日(金)の3日間審査しました。また、その他の議案につきましても各常任委員会及び議会運営委員会で審査しました。提出された議案等の審議結果については、6面に掲載しています。



春の柳瀬川沿いのさくら

## 平成22年度予算のあらまし

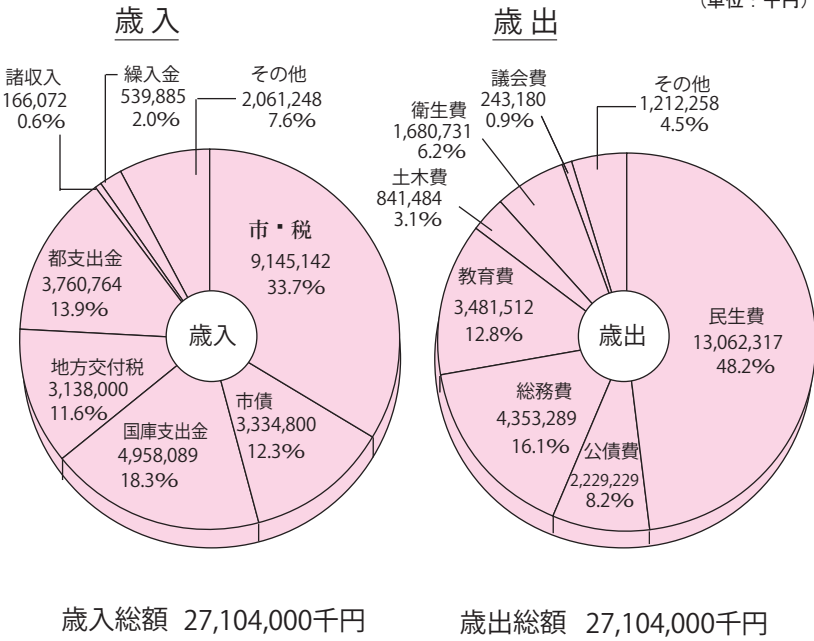
平成22年度予算は、経済不況を反映して税収のほか地方消費税交付金等が前年度よりも大きく減少しており、地方交付税が増額されたものの、生活保護費や自立支援給付費などの社会保障費が大幅に増加しています。こうした歳出の大幅な増に対し、前年度以上に臨時財政対策債の活用や財政調整基金からの繰り入れで対応するなど、市財政は引き続き厳しい状況にあります。

このような中、行政課題である「安心して住めるまちを目指す取り組み」、「人づくりを進める施策」、「活気ある協働のまちの推進」、「みどりの保全・快適住環境都市への取り組み」などに対応する予算を計上しております。

平成22年度一般会計の予算規模は、前年度と比較すると率で2.1%増の271億400万円となっております。安心して住めるまちを目指す取り組みとして、校舎耐震化、第三小学校南校舎改築、第三中学校校庭全面芝生化、肺炎球菌ワクチン接種費助成及び認知症高齢者グループホーム整備費助成など、人づくりを進める施策として、待機児解消のためにきよせ保育園並びにすみれ保育園が行う定員増に伴う運営費助成、子ども手当、乳幼児医療費助成、私立保育園運営支援及び読書の清瀬・スポーツの清瀬のための各施策など、活気ある協働のまちの推進として、清瀬市民センター再整備、清瀬市コミュニティプラザ整備、プレミアム商品券発行助成など、みどりの保全・快適住環境都市への取り組みとして、神山特別緑地保全地区用地購入、市道0209号線道路整備などの事業の予算化を図っております。また、特別会計は、全体では前年度と比べて率で2.3%減の154億2千900万円となっております。

### 一般会計歳入歳出予算構成表

(単位：千円)



## 平成22年度 一般会計予算討論要旨

平成22年度 一般会計予算討論要旨

22年度 一般会計予算討論要旨

賛成討論 日本共産党

自公政権の構造改革で壊された雇用やくらしを、新政権も建て直す方向が見出せずにいます。くらしを支える施策の充実がいつそう問われています。

市長は、廃止が切望される後期高齢者医療制度の保険料値上げや65歳まで広げる新制度に「期待す賛成討論 清瀬市民クラブ」

長期の不況を反映して税収が落ち込むとともに、政権交代に伴い、予算編成が変わり、大幅な事務負担の増加が生じるなど、困難な情勢の中にもかかわらず、本予算案は、改革を推進すると同時に、多様な市民要望に応えた事業、さらにまちの将来を見据えた政策を展開した、非常に期待できるものになっていきます。

星野市長は、「個性を發揮したまちづくり」、「安心して暮らせるまちづくり」、「そして、「人が輝くまちづくり」の3つの考えを基本に予算案を編成されました。大いに評価し、賛成します。

不況下で、市民税をはじめとして税収は減少しています。しかし、国は国税に連動して減少するはずの地方交付税を増やし、同時に自治体に借金を求めています。このことに危惧を抱きます。

清瀬市コミュニティプラザが、市民活動支援のための施設として賛成討論 公明党

景気低迷の中、市債発行を抑え臨時財政対策債を充分活用した堅実な予算編成と考えます。新政権は扶養控除廃止など抜本的税制改正に着手、臨時財政対策債など今後の扱いを危惧します。事業には学校校舎耐震化、認可保育園定員増、援農ボランティア育成、乳が

賛成討論 風

清瀬市の財政規模は425億で、市民が受けるサービスは平均55万円である。他方、清瀬市民が市と国に負担する額は平均して22万円以下である。これは各種の資金を国庫と都から最大限に引き出す行政の努力の賜物である。ところで清瀬市の直近の経常収支比率は臨時

財政対策債を利用しなければ101.7で、経常支出以外の支出を伴う事業は不可能なことを示している。従って赤字市債の利用を了承するが、今後は諸事業や人件費、補助金を精査・整理して赤字市債の利用を最小限に留めることを要望して、予算案に賛成する。